

【使徒の働き 19 章】

「信じた時、聖霊を受けましたか？」

(使徒 19:2)

この度台湾から3人の方々が訪問されましたが、あたかも使徒行伝の11章の3人の使者のようでした。彼らを通して、**真の賛美隊**を教えられました。いつでもどこでも歌いだすのです。心を込めて神様を見上げながら賛美しておられる姿は、大変印象に残りました。それは周りの人に不思議な主のご臨在があらわされました。東京タワーに行った時も、展望台で賛美しました。ざわざわしている所でしたので、周りの人に気づかれず、霊の戦いが導かれました。また、Jハウスに輝くんも連れてこられ、疲れてぐったり眠っていたのですが、彼らが賛美を始めると、何かと目をさまし、自分も手を動かし87才のおじいさんが、「キャーキライ(立ち上がれ!）」と言われると、輝くんが今までにないくらいの力で足を踏ん張り、右左と足を交互に動かし、あたかも歩くかのように、足を伸ばしたり曲げたりし、そこに主のご臨在が豊かにありました。本当に歩き始める時が待たれます！聖霊の導きと、働きの麗しさとその栄光にあずかることができました。

ペテロはエペソに来た時、幾人かの弟子に出会って聞きました。「**信じた時、聖霊を受けましたか?**」彼らは悔い改めのヨハネのバプテスマしか知らず、聖霊が与えられることを知りませんでした。ヨハネは前触れであり、イエス・キリストこそ救い主であることを聞いた彼らは、主イエスのみ名によってバプテスマを受け、按手の祈りにより、聖霊に満たされ、異言を語ったり、預言をしました。当然その働きに反対する者もいましたが、毎日ツラノの講堂で伝道した結果、アジアに住む者は皆、ユダヤ人もギリシャ人も主の言葉を聞き、パウロによって奇跡が行われるのを見ました。聖霊様と悪霊の働きははっきりと区別され、魔術を行っていた多くの者が、その書物を抱えてきて焼き捨てました。こうして主の言葉は驚くほどに広まり、ますます力強くなっていきました。

聖霊のお働きは留まりません。御霊の示しを受け、マケドニアとアカヤを通った後で、エルサレムに行くことにし、そこからさらにローマも見なければならぬと、聖霊様のみ思いをパウロは告白しています。自分を捨てて十字架を追う主のしもべパウロの姿が描き出されています。私たちもまた、この尊い人生を自分の欲のために用いるのではなく、聖霊に満たされて主のみ思いのままに生きていきましょう。あの有名な歌手、あの立派に思えた偉人と言われる人が、なぜか地獄にいたという幻のある人を見ました。もちろん吟味が必要でしょうが、あり得ることです。人はうわべを見ますが、神は私たちの心の内側の心根を見抜かれます。**聖霊に満たされて、正しく主の言葉に聞き従って、応答するものとなりましょう。**



SHIROAM (遣わされた者)

2011. 6.12 No.635

神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。

ヨハネ 6:29

TLCCC FRH 教会週報

(天に登録されている長子たちの教会)

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

天に登録されている長子たちの教会(FRH)

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師: イエス・キリスト

Tel&Fax: 048-689-048



教会内での紛失や盗難等につきましては、一切責任を負いません。

皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。